

PRESS RELEASE

2012年3月8日
株式会社三菱総合研究所

2011年10-12月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より3月8日に発表された2011年10-12月期GDPの2次速報値（2次QE）を受け、2月14日当社発表の「2011-2013年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 ー実質GDP成長率は11年度▲0.4%、12年度+1.8%、13年度+1.6%

実質GDP成長率は、11年度▲0.4%、12年度+1.8%、13年度+1.6%と予測する（前回見通し（1次QE後、2/14）からの変更は、11年度+0.1%ポイント、12年度および13年度は変更なし）。

10-12月期GDP（2次QE）は、上方修正（実質前期比▲0.6%→▲0.2%）となった。民間企業設備投資が大幅に上方修正（同+1.9%→+4.8%）されており、実質GDP成長率を+0.4%ポイント押し上げる結果となった。民間在庫投資は若干の下方修正、公的固定資本形成は若干の上方修正となっている。

今回の設備投資の上方修正は、法人企業統計による中堅・中小企業の設備投資が大幅に増加した結果とみられるが、建設業や情報通信業での単発的な大規模設備投資が寄与している可能性もあり、12年1-3月期の設備投資は反動減が予想される。

先行きの見通しは、国内需要は、復興需要の顕現化や各種政策効果による消費の下支えなどもあり、12年度半ばにかけて堅調な回復を見込む。輸出は、欧州債務問題が熾り続けるなか依然として波乱含みではあるが、標準シナリオとしては海外経済の回復とともに12年度後半にかけて緩やかな増加を見込む。実質GDP成長率の四半期パスとしては、12年1-3月期は実質前期比+0.1%、4-6月期は同+0.7%、7-9月期は同+0.5%、10-12月期は同+0.4%を予想する。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し				前回（1次QE後、2/14）		
		2010年度 実績	2011年度 予測	2012年度 予測	2013年度 予測	2011年度 予測	2012年度 予測	2013年度 予測
(単位: 前年度比)								
実質GDP	実質国内総生産(実質GDP)	3.1%	▲0.4%	1.8%	1.6%	▲0.5%	1.8%	1.6%
	民間最終消費支出	1.5%	0.6%	0.7%	0.8%	0.5%	0.6%	0.8%
	民間住宅投資	2.3%	3.7%	3.7%	5.4%	3.7%	3.7%	5.4%
	民間設備投資	3.5%	0.8%	2.8%	2.3%	▲0.1%	3.7%	2.4%
	民間在庫品増加(寄与度)	0.8%	▲0.4%	0.1%	0.0%	▲0.4%	0.1%	0.0%
	政府最終消費支出	2.3%	2.0%	2.1%	1.4%	1.9%	2.1%	1.4%
	公的固定資本形成	▲6.8%	1.6%	6.3%	▲2.4%	1.4%	6.3%	▲2.4%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	17.2%	▲1.8%	2.8%	4.4%	▲1.7%	2.8%	4.4%
	財貨・サービス輸入	12.0%	5.1%	2.8%	1.7%	5.2%	2.8%	1.7%
寄与度	内需寄与度	2.4%	0.6%	1.7%	1.1%	0.4%	1.7%	1.1%
	民間寄与度	2.2%	0.1%	1.0%	0.9%	▲0.0%	1.0%	1.0%
	公需寄与度	0.1%	0.5%	0.7%	0.2%	0.4%	0.7%	0.2%
	外需寄与度	0.8%	▲1.0%	0.1%	0.5%	▲1.0%	0.1%	0.5%
名目国内総生産(名目GDP)		1.1%	▲2.4%	1.1%	1.2%	▲2.5%	1.1%	1.2%
GDPデフレーター		▲1.9%	▲2.1%	▲0.7%	▲0.4%	▲2.0%	▲0.7%	▲0.4%

資料：実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
 政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：ytakeda@mri.co.jp
 広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
 尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。